

人権問題について

山南中学校 三年 西垣 さやか

2024年夏、オリンピックが開催され、連日盛り上がりを見せています。その中で私は、アルジェリアの女子プロボクサーについての話を聞きました。

アルジェリアのイマン・ヘリフ選手は、8月1日、イタリアのアンジェラ・カリニ選手と対戦し、開始46秒でカリニ選手が棄権しました。また、ヘリフ選手とカリニ選手の体格差がはっきりしていることやヘリフ選手の見た目が男性のように見えることから「なぜ男性が女子ボクシングに出場しているのか」や「金メダルを取るために性別変更してまで出場したいのか」、「トランスジェンダーの選手が出場できるのはおかしい」などの声が上がりました。ほかにも、アメリカの大統領選の共和党候補のトランプ前大統領は3日、南部ジョージア州での演説でヘリフ選手のことを「優れた男性ボクサー」やヘリフ選手の試合のことを「男性が女性を殴るものだ」と発言していました。

そこで私はヘリフ選手について調べてみました。ヘリフ選手は、トランスジェンダーと言われていますが性別は本当に女性でした。ヘリフ選手は、アンドロゲン不応症という性分化疾患という病気であることが判明しています。アンドロゲン不応症とは、染色体核型は46XYであるがアンドロゲン受容体遺伝子の異常により男性化が障害され、女性の表現型を示す疾患です。つまり、もともと男性として生まれて女性に性別を変更したわけではなく生まれた時から性別は女性で性別テストを受けて初めてXYの染色体を持つ病気が発覚したことになります。

私は、このことを知ったとき、ヘリフ選手に誹謗中傷している人たちやトランプ前大統領は本当にこのことを知っているのかなと思いました。生まれた時から女性として育てられていることと、染色体のことは事実です。しかし、この事実を知らない人は多いと思います。実際に「トランスジェンダー」や「性別変更」などとSNSに書いている人がいます。本当のことを知らないまま自分自身の憶測や勝手な想像でSNSにのせることは、本当にやってはいけないことだと思います。また、私たちが見るニュースなどは、どこを切り取るかによって内容が大きく異なります。自分に損なところを切り取って得に書きかえることができます。SNSで書いている人やトランプ前大統領がヘリフ選手を苦しめようと思ってやっているかは分からないけどその発言や書き込みがヘリフ選手やそのご家族、関わりのあるさまざまな人を悲しませたり、怒りの感情にさせたと思います。SNSに書き込みを見て本当のことを知らずまた見た人が書き込むというよくないことのくり返しでたくさんの人が周りの意見に流されているよう

にも思えます。しかし、やっぱり嫌なことを書かれてうれしい人はいないと思うし、私がされてもいやだと思うので、ヘリフ選手が誹謗中傷されるのはおかしいと思いました。

今までヘリフ選手の立場に立って考えていましたがヘリフ選手が対戦したイタリアのカリニ選手側の立場になって考えてみました。病気と言っても体格差があるのは事実だし、そのまま試合をしていたら危険なことになっていた可能性だってあったと思います。カリニ選手は

「お願いだから戦わないで。相手は男だ。あなたにとって危険だ。」

と言っているそうです。言い方は、おかしいと思いますが、カリニ選手のことを考えるとその判断はまちがいは言えないと思うしカリニ選手を応援していた人たちにとってはヘリフ選手を有利と思ってもおかしくないと思います。私は、バスケットをしていますが高身長でがっちりした体の人を見ると

「あの子にはきをつけて！」

と言うことがあります。チームメイトにはケガをしてほしくないと思うからです。

いろいろな立場になって考えると分からなくなりそうだけど、私は、やっぱり誹謗中傷はよくないと思います。女性と証明されているし、パリオリンピックのためにがんばって練習してきて、好成績をだしているのにたたかれるのはおかしいです。カリニ選手も練習したことを発揮できずにおわってしまうのはとてもくやしいと思います。

本当のことを知らないままSNSに書き込むと多くの人がかんちがいをし、かなしむ人がいます。これは、私の想像だけど、カリニ選手のコーチも本当にヘリフ選手のことを理解していたら試合は、もう少しいい形でおわっていたのかなと思います。だから、ヘリフ選手もカリニ選手も被害者だと思います。だれも傷つかないというのは、むずかしいけどお互いのことを知り、理解して外見にとらわれず相手のことを思っていると傷つく人は減ると思います。私も、見た目や情報にとられる相手のことをしっかり考えられるようになりたいと思いました。